

新型コロナウイルスの世界的流行により、世界各地の主要港では、港湾の混雑解消の目途が立たない状況が続いております。本号では、米国ロサンゼルス港およびロングビーチ港の混雑状況についてお伝えします。

1. ロサンゼルス港・ロングビーチ港での物流への影響

- 米サンペドロエリア(ロサンゼルス港およびロングビーチ港)での2021年1月のコンテナ滞留日数は、前月の5日から5.1日に微増しています。
- 各コンテナターミナルともコンテナを運ぶトラックの列も徐々に長くなっており、待機料の発生等の問題も顕在化しております。当社現地法人である TM Claims Service 社現地スタッフからの情報によれば、トラックの列が3マイル(=約4.8km)に及ぶ日もある模様です。
- 各ターミナルのキャパシティは限界に近づきつつあり、沖合にはバースの空きを待つ船舶が待機している状況です。ロサンゼルス港の速報(3/18時点)では、平均沖待ち日数は7.7日、沖合で入港を待つ船舶は平均13隻ですが、多い日は待機船が20~30隻に上る日もあります。
- 船舶が沖合に到着した後、ターミナルに着岸できるまで2~3週間を要することもあり、また、ターミナル内での滞留も重なり、荷主側の貨物引取りの大幅遅延やデマラージュ、ディテンション等を巡るトラブルも頻発しております。
- 重ねて、2021年1月中旬に発生した港湾労働者のクラスター発生も影響し、先行きが見通せない状況が続いております。
- 両港の1月のコンテナ総取扱量は、対前年比11.62%増の159万9522TEU。滞留コンテナに占める「5日以上滞留したコンテナ」の割合は27.4%と、前月の26%から更に増加し悪化傾向にあります。
- 一方、鉄道輸送においても、鉄道のランプでの滞留日数も1月は平均7.9日と滞留が発生しており、引取り・回送にも大きな打撃を受けております。

ロングビーチ、ロサンゼルス港の1月取扱実績

Long Beach				
	2021	2020	Balance	Percentage
Inbound	364,255	309,961	54,294	17.52%
Outbound	116,254	108,624	7,630	7.02%
Empty	270,221	200,807	69,414	34.57%
Empty inbound	13,277	7,437	5,840	78.53%
Total	764,007	626,829	137,178	21.88%

Los Angeles				
	2021	2020	Balance	Percentage
Inbound	437,609	414,730	22,879	5.52%
Outbound	119,326	148,206	-28,880	-19.49%
Empty	278,580	243,206	35,374	14.54%
Empty inbound	0	0	0	0.00%
Total	835,515	806,142	29,373	3.64%

Both ports total				
	2021	2020	Balance	Percentage
Inbound	801,864	724,691	77,173	10.65%
Outbound	235,580	256,830	-21,250	-8.27%
Empty	548,801	444,013	104,788	23.60%
Empty inbound	13,277	7,437	5,840	78.53%
Total	1,599,522	1,432,971	166,551	11.62%

ロサンゼルス・ロングビーチ港湾局実績実績統計より



【出典】 日刊サン電子版 3/14号

ロサンゼルス港 Port Optimizer volumes.portoptimizer.com

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリントピックス バックナンバー